

# 子どもたちと共に考える村づくり

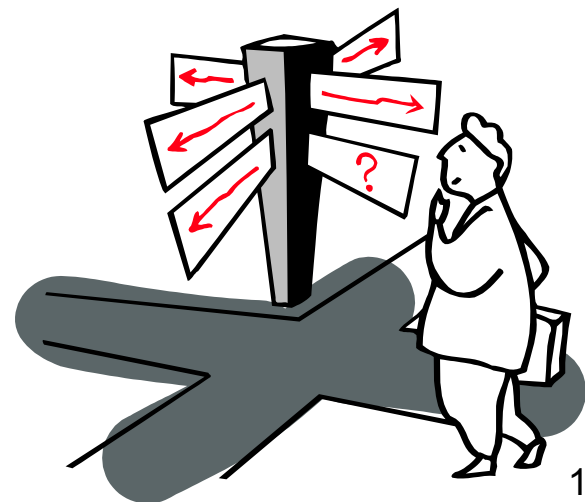
2022年11月20日

株式会社 日本総合研究所 主席研究員

株式会社 日本政策投資銀行 地域調査部 特任顧問

みきわめ ・ みとおす  
事実発見&構造把握業

もたに  
藻谷浩介 kosuke@motani.com



# 17年→22年の5年間に 0~4歳の乳幼児が減らなかったのは？

① 道志村	△27%
② 東京都心23区	△8%
③ 相模原市	△13%
④ 中華人民共和国	△26%
⑤ ロシア連邦	△20%
⑥ 米国	△6%
⑦ インド	△5%
⑧ ASEAN	△3%
⑨ 昭和町	△9%
⑩ 小菅村	±0% (横ばい)

国内：住民基本台帳人口  
(17年元日→22年元日の比較)

国外：国連人口部2022年推計予測  
(中位推計)

いずれも移民や居住外国人を含む数字

# 17年→22年の5年間に 0~4歳の乳幼児人口が減らなかったのは？

- ① 道志村 △27%
- ② 東... △8%
- ③ 村... 3%
- ④ %
- ⑤ %
- ⑥ %
- ⑦ 5%
- ⑧ AS △3%
- ⑨ 昭和町 △9%
- ⑩ 小菅村 =0% (横ばい)

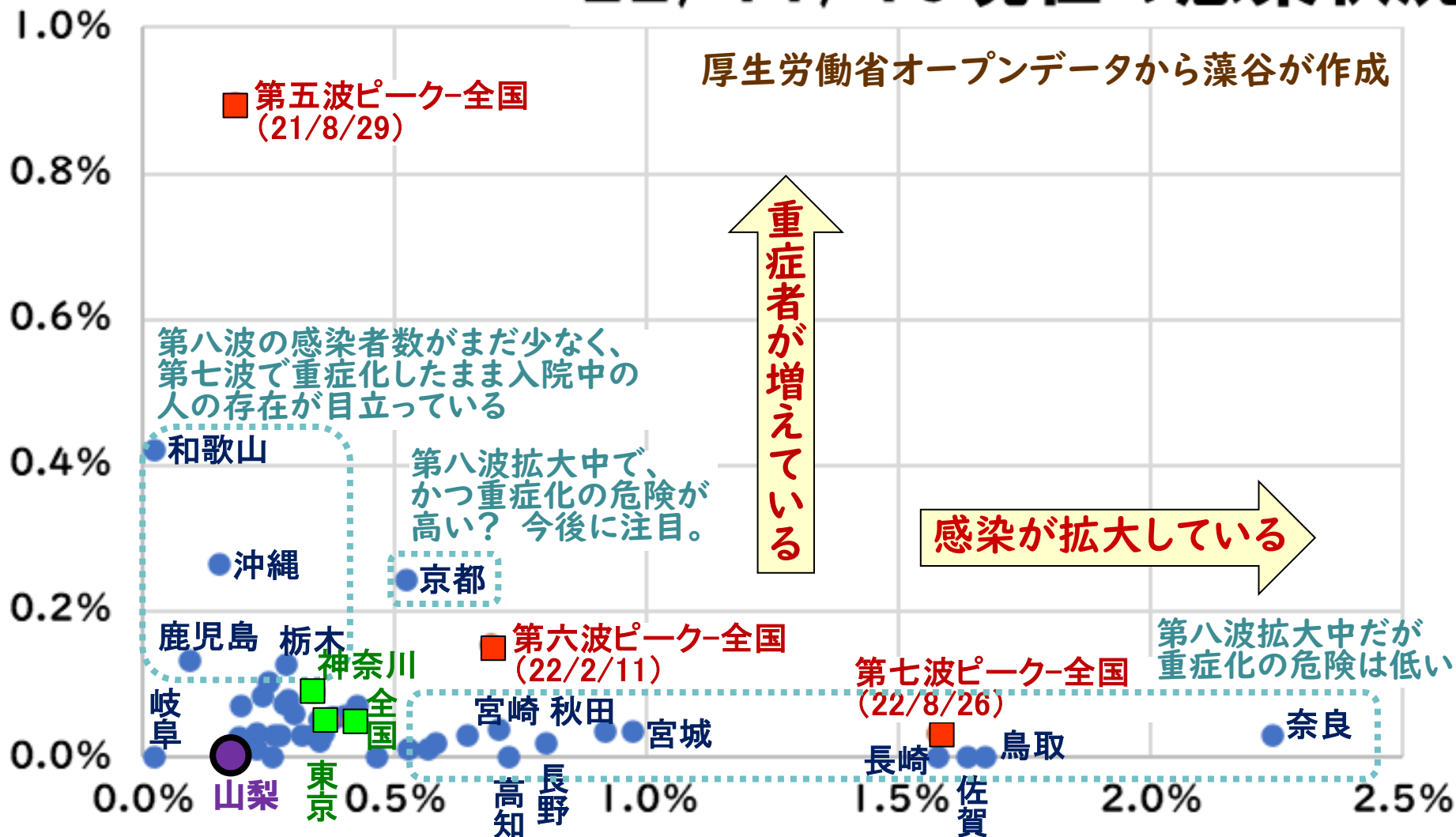
昭和どころか、  
もう平成も終わっている。  
世の中はすっかり変わった。  
でも頭の中は昭和のまま。  
大谷翔平が出ている時代に  
まだ自分は長嶋茂雄が一番...

# さらなる変異株の侵入で 始まったコロナ第八波… 山梨県での感染は？

- ① 全国の中では深刻な方
- ② 全国では平均的
- ③ 全国に比べてぜんぜん深刻ではない

# 都道府県別にみた“第八波”の実態

## 22/11/15現在の感染状況



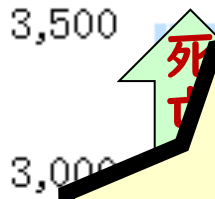
# 過去3年と比較すると

日本人の9割以上は、不安を強く感じ、未来を悲観する傾向を、遺伝的に持つという。

→ 私も、あなたも、とにかく日本人は...

- ① 否定的な気分で話しがち
  - ② うまくいっても成果を否定しがち
  - ③ たまに反動で、過度の楽観に走る
- 等身大の事実に興味がなく、「8割卑屈、2割傲慢」でブレ続ける。

死亡者数累計(人口100万人当たり)



死者数多い

0%

50%

60%

陽性判別者数累計(人口100人当たり=%)

“8割身元”にならず  
等 点

橋本と道志は1時間  
ちょっとしか離れていないが...

橋本から先は、“地に足つかない”  
人たちが住んでいる大都会。そこでは  
情報は、“体から”ではなく“口から”  
出ており、話は“根”がなく、ブレる...

他方で道志には、道志に根差して、  
体から話す人がたくさんいる！  
だが中には 昭和の認識を口先  
で話すだけの人も...

自分ならではの基点、そこに立って話している

# 昭和度チェック① 2010年から20年の間に

以下の中で一番国内売上の増えた産業は？

① 農業 農薬や化学肥料に頼らない  
高付加価値品が成長、輸出も増加 | 0%

② 林業 世界的な木材不足で  
日本の緑の価値は増大 SDGsの時代に  
木材利用が再評価 | 3%

× 漁業 乱獲や気候変動  
で漁業資源が減少 Δ | 0%

④ 製造業（工業） 2009年のリーマン  
ショックから回復 | 2%

× 小売・サービス業 Δ | 0%

(日本人向けのBtoC) オフィスワーカーは、伸びない  
国内消費を巡って消耗戦を  
続け、疲弊している



# 昭和度チェック② 日本の経常収支

## 日本が国際競争で負けて赤字の相手は？

コロナ禍の2021年の国際収支

©財務省国際収支状況

お得意様第1号

日本の黒字は  
11兆円/年

米国

お得意様第2号

日本の黒字は  
5.3兆円/年

中国 (+香港)

お得意様第3号

日本の黒字は  
2.7兆円/年

台湾

👉黒字相手4位はオランダ  
5位は英国、6位はケイマン諸

お得意様  
第7号

韓国

👉黒字相手8位はシンガポ<sup>ー</sup>ー

お得意様  
第9号

ドイツ

👉黒字相手10位はインド

日本が  
常に  
赤字

対 イタリア

👉ブランド衣料品 + 農産加工品  
(パスタ、オリーブオイルなど)

日本が  
常に  
赤字

対 スイス

👉薬品、手作り時計、地産地消  
最低月給は40万円以上

# 現実把握→対処のイロハとは

世の「空気」は無視し、自分で確認

まずは ① 事実の **確認** (=入力)

次いで ② 事実の **解釈** (=出力)

誰かの解釈の丸覚えは禁物

👉 ①と②を合わせて **事実認識** を形成

その上で ③ 事実への **価値判断**

その先に ④ 事実への **対処**

先にここに話の飛ぶ人は、99%「確認」が不足。

一般人は、自説(③)に合う②を探さない。

先にここに話の飛ぶ人は、99%対処の邪魔。

学者は、通説(②)を暗記し、それに反する①は無視。

行政や企業は、①②③を飛ばして④に走りがち。

# 昭和度チェック③ 生活が苦しい町は？

2014年の人口1人あたり生活保護費

<http://area-info.jp/SehoPerPop.html>

① 東京都心23区平均	56,200円
② 北海道夕張市	48,200円
③ 川崎市	44,800円
④ 横浜市	36,800円
⑤ 相模原市	32,900円
⑥ 甲府市	26,500円
⑦ 都留市	11,600円
⑧ 富士吉田市	10,400円
⑨ 山梨県町村平均	9,300円

お金以外の資源も  
豊富なので、  
生活に困りにくい

# 昭和は“7回裏で試合終了”だった

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
5歳	15歳	25歳	35歳	45歳	55歳	65歳
10歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳

“いい大学”  
から“大企業”  
に入ればもう  
成功は確実!

うまく  
“重役”に  
なれば  
退職後は  
“悠々自適”

男性は平均で  
70手前で死に、  
“試合終了”。  
→家は子育て中  
の子供が相続

# 令和の人生は9回裏まで + 延長戦も



進路指導の教師も、親も、ここまでしか考えていない

若く体力のあるうちに子育てすべきだったが、仕事で残業ばかり

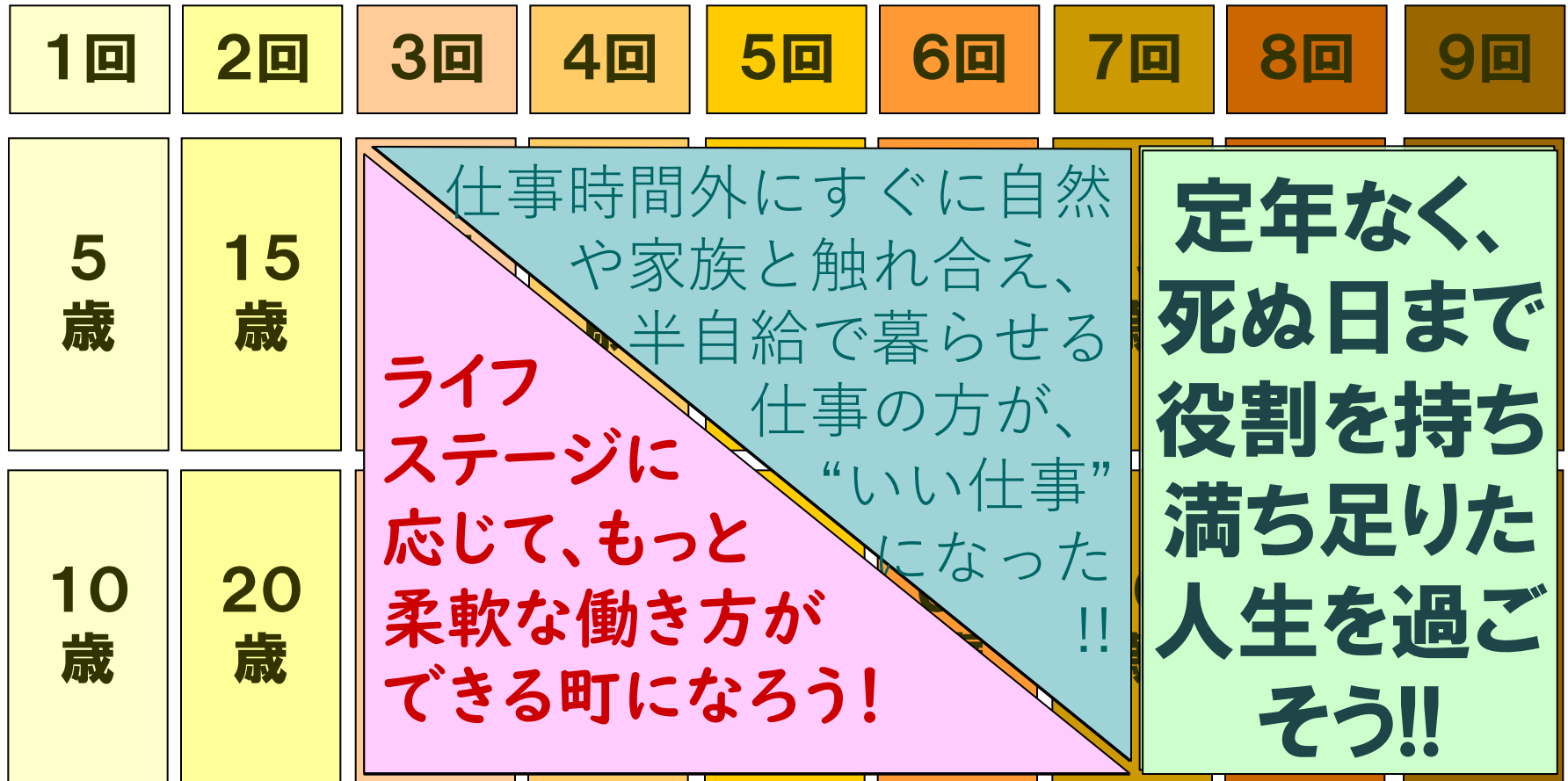
持ち家とお受験教育“2つの無用”に無駄金を払う

退職後には収入もやることもない

田舎暮らしの方が仕事も収入もある!

延長戦に入る備えはあるか?

# 超高齢化社会になるほど田舎は有利



進路指導の  
教師も、親も、  
ここまでしか  
考えていない

若く体力  
のあるうちに  
子育てすべき  
だったが、仕事  
で残業ばかり

持ち家と  
お受験教育  
“2つの無用”  
に無駄金を払う

退職後  
には  
収入も  
やること  
もない

田舎暮らし  
の人の方が  
仕事も収入  
もある!

延長戦に  
入る備えは  
あるか?

# 21世紀は昭和とは違う

☆ 平均寿命が延びた [昭和：60歳代→21世紀：80歳代]

→ 昭和の頃は、大企業の退職金で死ぬまで暮らせた

→ 21世紀は“退職のない仕事”をして、田畑で自給ができて、お金の頼らない部分を持つ方が有利！

☆ 毎年生まれる子どもの数が半減した

→ 昭和の頃は、人口の増加＝若者の増加

→ 21世紀は、人口の増加＝高齢者の増加

※ 都会ほど子どもが生まれにくく、新たに流れ込んでくる若者の数よりも、昔流れ込んできていま高齢者になっている人の方が多い

☆ 日本は世界一豊かになり、地方も本当に豊かになった

→ 昭和の頃は、仕事がなくて都会に出ていた

→ 21世紀は地方ほど人手不足で、生活費も安い

17年

15~

①

15-20年前に生まれた人  
(45-50年前生まれより30年若い、子どもの世代)  
は32万人。49万人・6割も少子化。

②

最近5年間に**32万人**が15歳を超え、  
15~44歳が差し引き**37万人**転入したが、

**81万人**が45歳を

49万人もの少子化は、  
32万人の若者流入でも  
補えないものだった

新 45-50年前に生まれた世代が校  
81万人も住んでいるのに...

12万人の減少

⑦

自分自身の少子化が激しすぎて、

⑧

幾ら地方から若者を奪って

⑨

来ても補えない状態

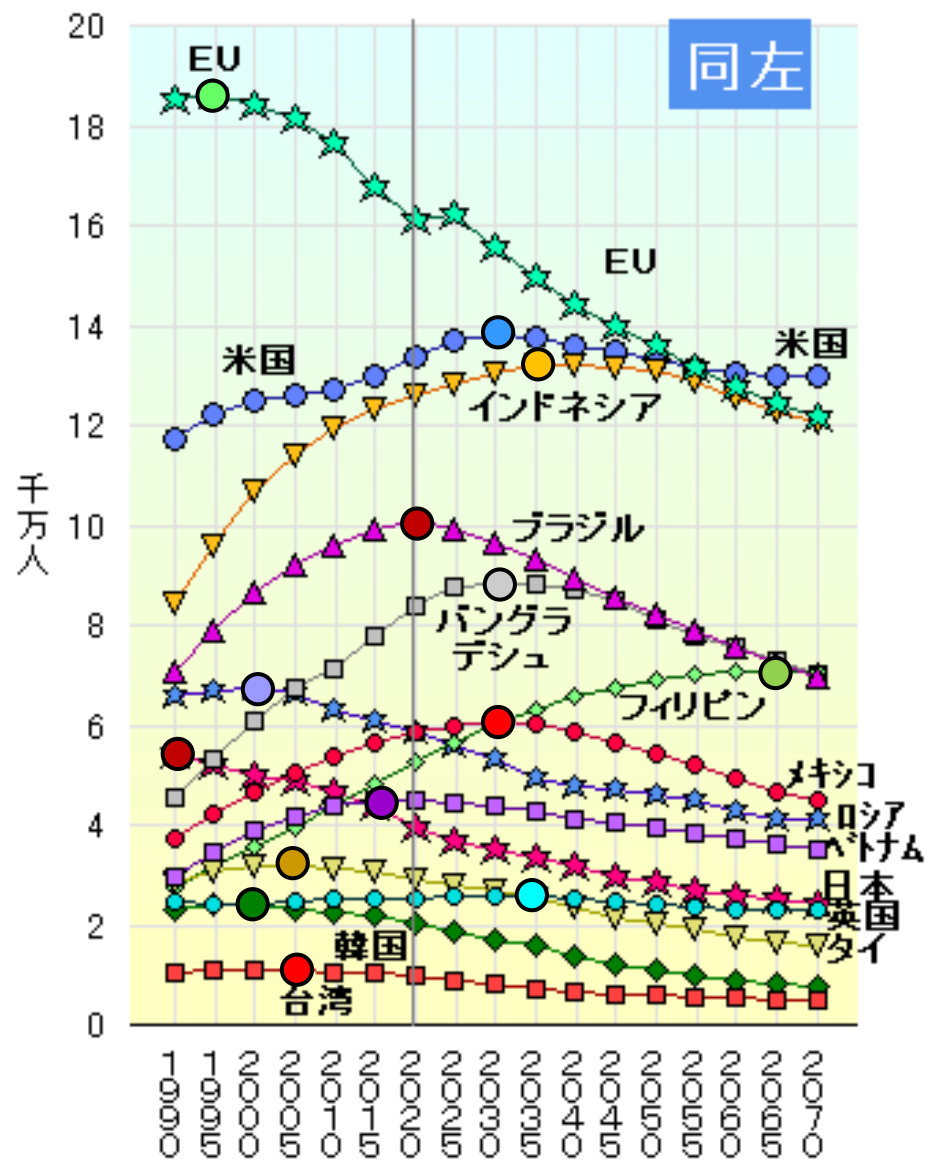
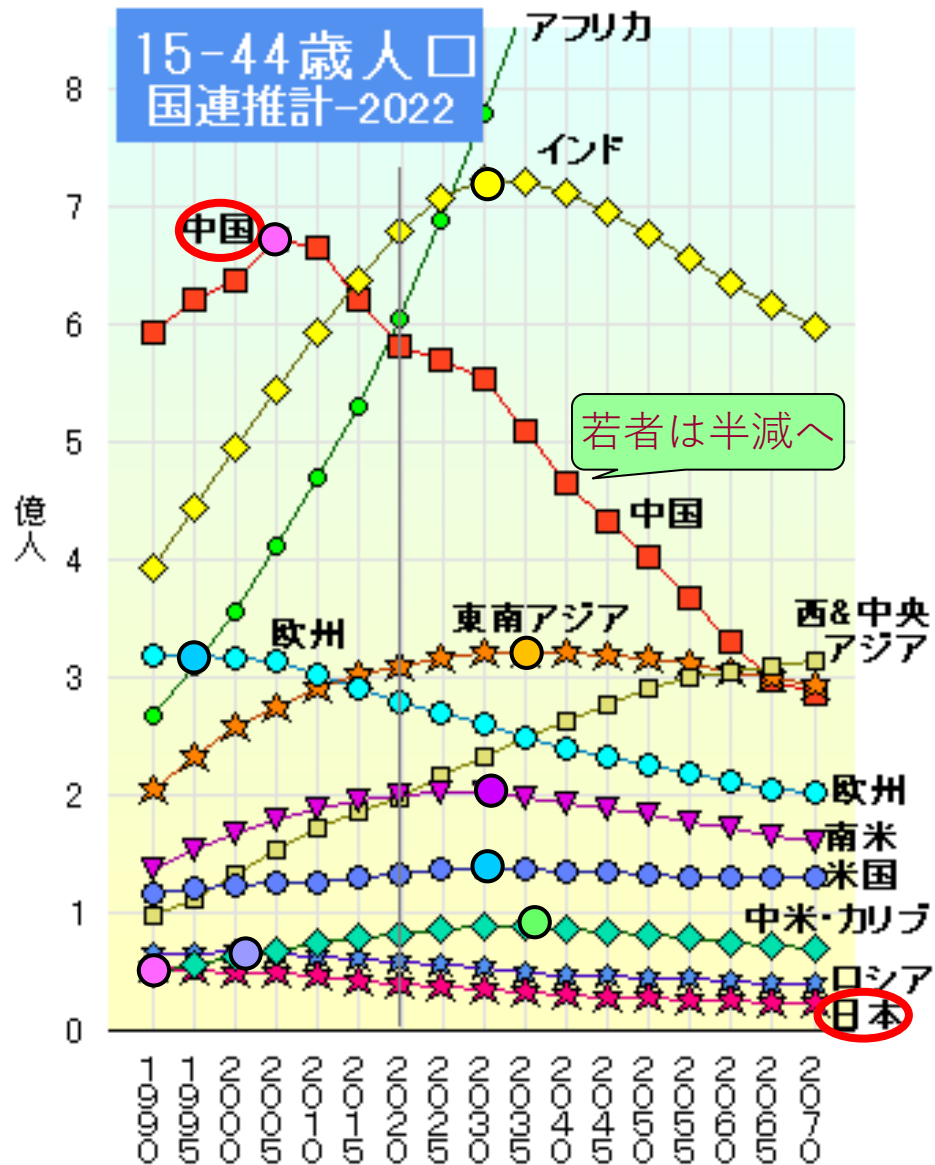
⑩

丹波山村

+1%



# 世界も日本の後を追って若者減少へ



17年間の間に

70歳

のは？

①

70歳以上人口は  
過疎地ではもう減り始めている

%

②

最近5年間に

70歳を超えた人と、70歳を超えて  
帰郷して来た人がいるが、合わせても、  
亡くなる70歳以上を埋められない。

⑦

高度成長期に若者を出したため  
もう“年寄りのなり手”が足りない。

⑧

医療福祉負担は減り始める。

%

⑨

昭和

子育て支援のチャンス！

28%

⑩

丹波山村

△14%

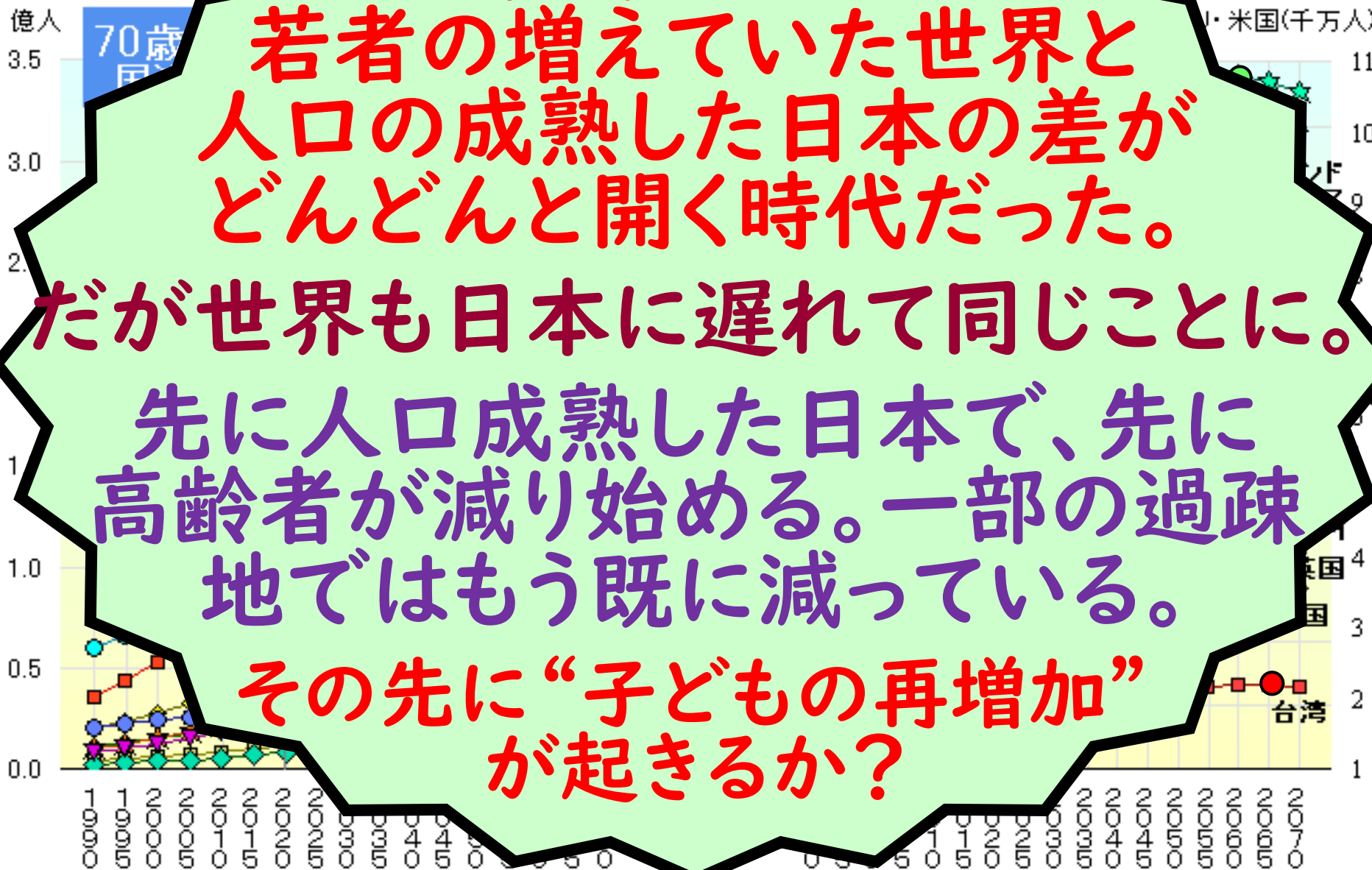
# 世界中で人口が急増中

平成は、まだ若者の増えていた世界と人口の成熟した日本の差がどんどんと開く時代だった。

だが世界も日本に遅れて同じことに。

先に人口成熟した日本で、先に高齢者が減り始める。一部の過疎地ではもう既に減っている。

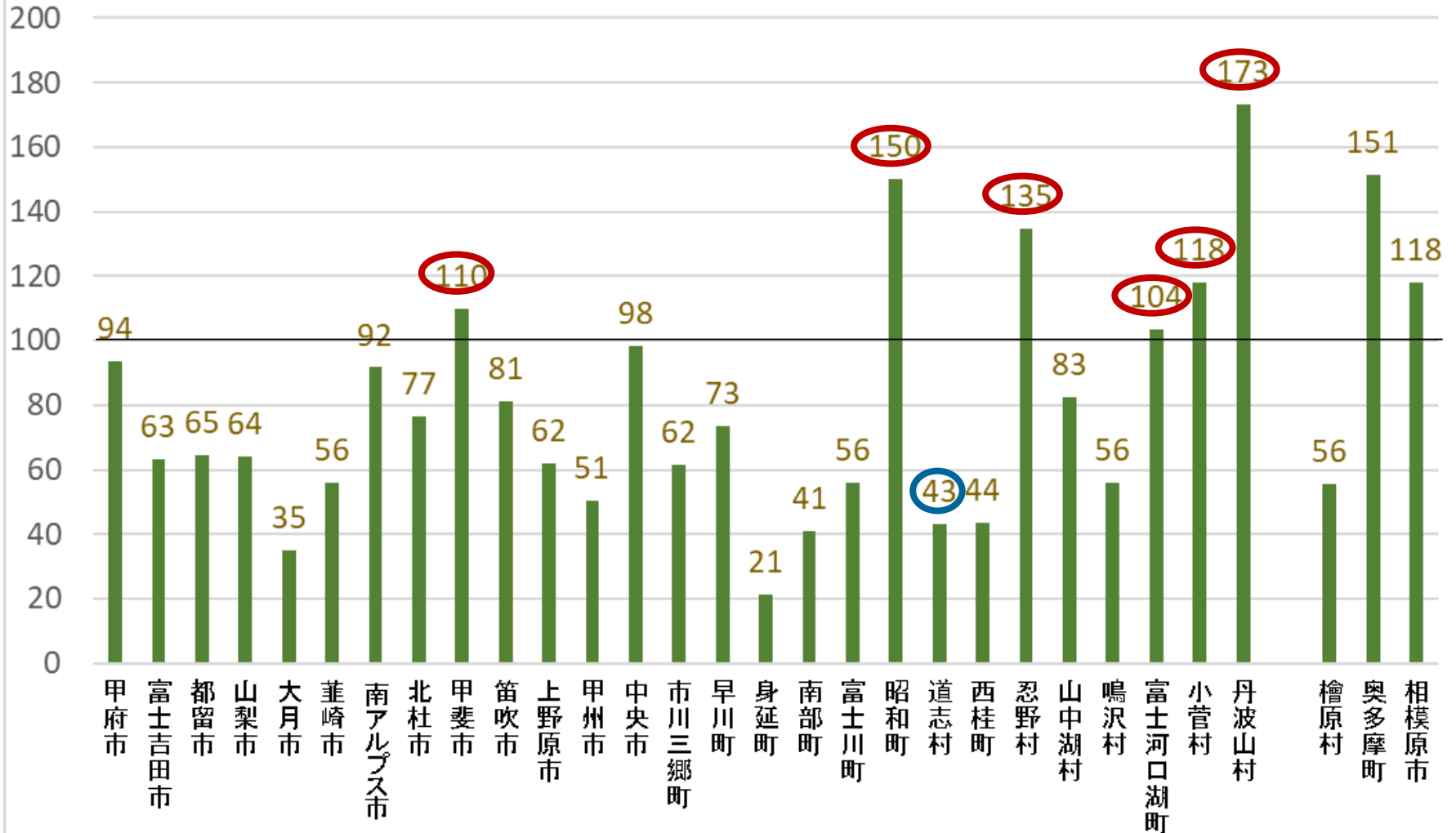
その先に“子どもの再増加”が起きるか？



# 若者回帰はどこで起きているか

## 2017年元日ー22年元日のトレンド

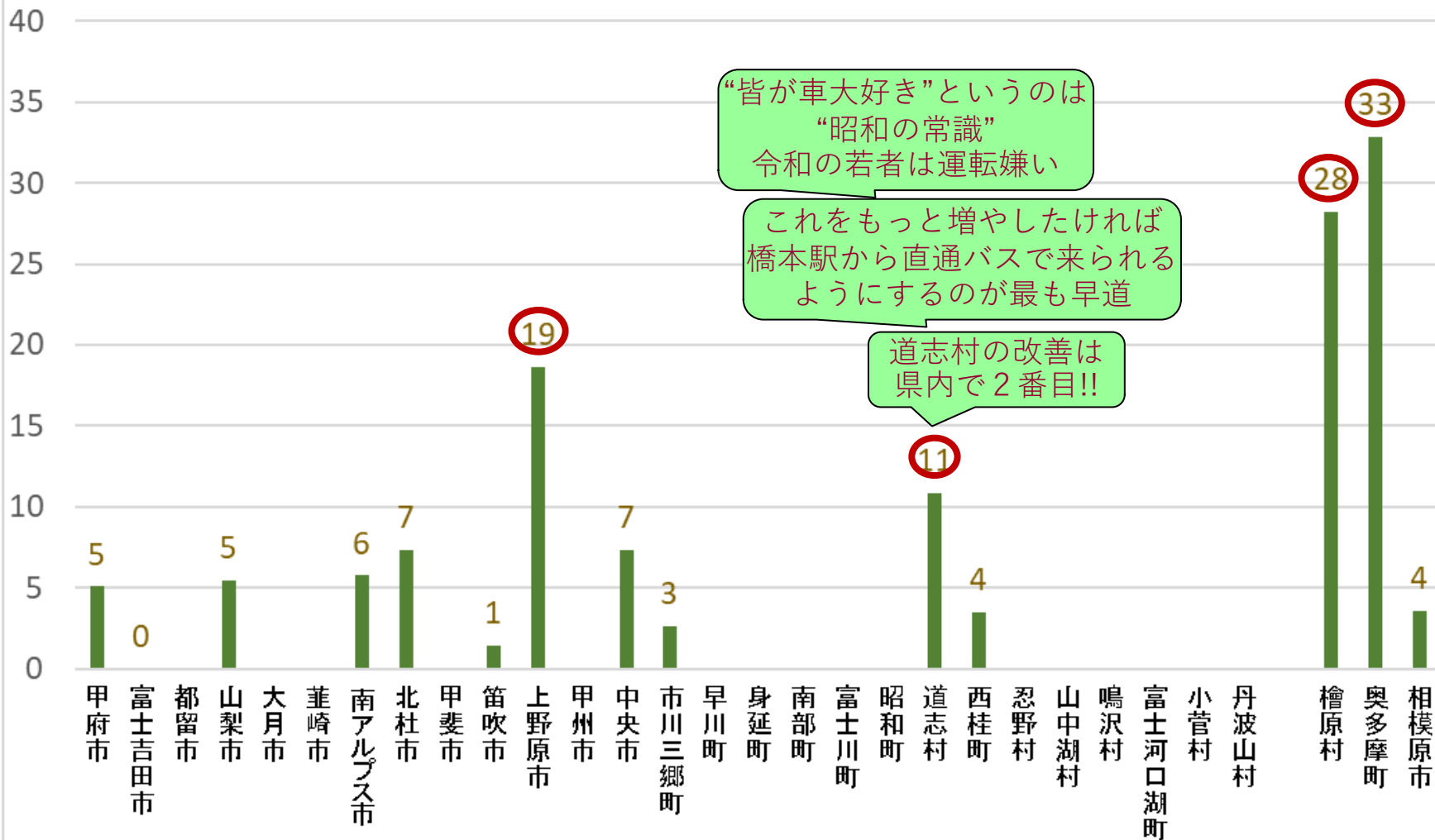
子育て世代回帰指数：0-4歳100人が35年後に何人になるかの試算  
(2017-22年の年代別転出入の傾向が、今後数十年続くと仮定して計算した指数)



# コロナ禍で若者回帰が強まった場所

## 2015-20年トレンドと2017-22年トレンドの比較

子育て世代回帰指数：0-4歳100人が35年後に何人になるかの試算  
(コロナ前の2015-20年トレンドより、2017-22年トレンドの方が改善した自治体)



# 都会では味わえないものって何？

視覚：緑、水、夕焼け、そして星が見えない

聴覚：虫の音、川の音、無音の音が聴こえない

嗅覚：四季の匂い、雨上がりの匂いがしない

触覚：風や湿気や陽光や清流の手触りがない

味覚：孤食はできるが、野外で会食できない

## その中でも一番重要なのは…

**触覚**：大脳皮質に直結する極めて精妙な感覚  
使って鍛えるほど脳が発達する（👉養老孟司）  
だがゲームやネットや、受験勉強では使わない

地に足つけて、全身の**肌感覚**を活性化しよう！

# 都会では何のって何？

視覚：

若者の都会集中の背景には

聴覚：

日本人の五感の衰退がある。

嗅

特に（男性の）触覚の衰えは深刻。

もっと土と水と生き物に触れよう。

都会で五感が満足してしまうような  
感覚の衰えた人になってはいけない！

触

田舎で五感を満たして暮らしながら  
折々に都会に遊びに行くのが  
一番豊かな暮らし方！

地に足つけて、生活活性化しよう！